

○議長（高橋正博君）

日程第 4、閉会中の継続調査結果報告を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。

総務建設常任委員長 三木俊明君。

○総務建設常任委員長（三木俊明君）

おはようございます。

令和 4 年 1 月 27 日に、閉会中の総務建設常任委員会を開催いたしましたので、その内容について報告いたします。

まずはじめに、総務課より、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について説明がありました。

コロナの影響が長期化する中、困難に直面している方々が速やかに支援を受けられるよう、住民税非課税世帯に対し、10 万円の給付を行う。対象者は令和 3 年 12 月 10 日時点で、土庄町に住所がある方で、令和 3 年度の町民税均等割が非課税の世帯、及びコロナの影響で令和 3 年 1 月以降の家計が急変して非課税世帯と同等と認められる世帯であります。対象世帯数は、非課税世帯が 2152 世帯、家計急変世帯は 519 世帯を見込んでいたとのことです。

申請の方法については、非課税世帯は町のほうから書類を送付をいたします。

家計急変世帯については、収入額が分かるものを添えて、申し出いただく必要があるとのことです。2 月の広報のチラシに折り込み、2 月 15 日から非課税世帯に書類を送付していく。第 1 回目の振り込みは令和 4 年 2 月 25 日の予定であるとの説明がありました。

委員より、家計急変世帯について、チラシを見ても分かりにくいと思うが、どのような対応をするのかとの質問があり、執行部から、防災無線等で周知をしていくとの回答がございました。

次に、旧土庄高校 3 号館改修工事の進捗状況について説明がありました。

入札の結果、管理業務は、一級建築士事務所 樹（いつき）、建築工事は、株式会社 田中組、機械設備工事は田中電気工事株式会社 土庄支店が落札したが、電気設備工事については、指名競争入札に参加した 6 社全てが辞退し、不調となった。

辞退の理由は、高圧ケーブル等電気設備関連資材の納期の見通しが立たないことによるもので、コロナによる海外工場のロックダウンの影響で、資材の入荷が見込めず、メーカー側において受注制限がかかっているとのことです。

2 階の放課後子ども教室該当部分のみに限定して使用することについては、電気設備工事が必要となる高圧受電の整備が必ずしも必要でないため、低圧受電の整備により、4 月からの共用開始を目指す。また、現在の放課後子ども教室は、施設の耐震性等に問題があり、早期の移行が望ましく、譲渡を受けた旧土庄高

校 3 号館を有効活用するためにも、まず、放課後子ども教室の移行を先行した上で、その他の設備の整備を行いたいとの説明がありました。

今回不調となった、電気設備工事については、状況が改善したのち、入札を執行し、事業完了とする予定としているので、事業の新年度繰り越しを予定しているとの説明がございました。

旧土庄高校 3 号館の施設名については、「土庄町多目的交流施設」とし、2 月号の広報で、別途愛称を募集するとのことでした。

委員から、業者によって、資材入荷のタイミングが異なると思うが、再入札を行う判断基準について決めているのか、という質問があり、業者に適宜ヒアリングを行って、時期を逸しないようにしたいとの回答がありました。

また、3 号館の調理室の整備について質問があり、調理室は面積が広いため高圧受電が必要で、電気設備工事完了後の供用開始となる。その間は、他の施設を有効活用したいとの回答がありました。

次に、商工観光課から、土庄町プレミアム付き商品券事業について説明がありました。

現在の販売実績は、発行数 1 万 2900 冊のうち、申込数 1 万 1919 冊、販売数 1 万 1225 冊である。今回の商品券には「飲食店専用券」が入っているが、コロナ感染拡大により、土庄町においても、まん延防止等重点措置が適用されたことを受け、期間内での利用に大きな影響が出ているとのこと。また、今後のさらなる感染拡大のリスクの軽減を図るため、「飲食店専用券」を「中小店舗専用券」と同等に扱えるように変更するとのことでした。

住民の皆さまへの周知については、店舗、購入者へ文書で知らせるほか、町ホームページや広報に掲載する。また、防災無線でも変更の案内や 2 月末までに利用していただきたいことを周知していくとの説明がありました。

委員から、混乱を招かないように住民や飲食店に丁寧に説明をしてほしいとの意見がございました。

続いて、瀬戸内国際芸術祭 2022 において、屋形崎地区に設置される作品とその周辺の駐車場整備について説明がございました。

作家は、第 28 回宇部ビエンナーレの大賞を受賞した三宅之功さん。

作品は陶器のような焼き物で作る大きな卵型のオブジェで、割れ目からは本物の草や木が生えてくるような経年変化も楽しめる、恒久的な作品でございます。

展示場所は、オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル敷地内の旧ケイマンゴルフ場のグリーン上でございます。注目作品の一つであり、来場者の混雑を避けるため、新たに駐車場を整備するとの説明がございました。

委員から、作品のその後の管理について、ホテルや瀬戸芸実行委員会としつ

かり話し合いをしてほしいとの意見がございました。

以上で、総務建設常任委員会の報告を終わります。